

雪害に対する農作物被害防止対策

令和3(2021)年12月17日
経営技術課・経済流通課・生産振興課

今冬は、ラニーニャ現象により、関東など太平洋側の平野部での大雪が懸念されます。過去に発生した大雪による甚大な被害を二度と繰り返さないため、農作物の管理及びハウスの補強や補修等の事前対策の徹底をお願いします。

I 事前対策

1 情報収集

(1) テレビやラジオ、気象庁ホームページ、とちぎ農業防災メールなど、幅広く情報収集を行なう。

・気象庁HP

https://www.jma.go.jp/bosai/#pattern=default&area_type=offices&area_code=090000

・とちぎ農業防災メール

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/g04/kisyousaigai/26nougyoubousaimail.html>

2 日頃の点検・補修

(1) ハウス各部を点検し、サビ止めや補修等を行う。

(2) ブレースや筋交い等の緩みを点検し、必要に応じて増締めする。

(3) 補強用の支柱やワイヤー、予備のフィルムやマイカー線等を準備しておく。

(4) 連棟ハウスではスプリングの2重留や

フィルムの捨て張りなど、連棟ハウスの谷からの浸水防止対策を実施する。

(5) 中柱、つかえ棒、ワイヤー、方杖、根がらみ等でハウスを補強する。

(6) 県作成資料「災害に強い農業用ハウス強靱化の手引き」を参考に、補強技術導入に取り組む。また、本資料尾末添付の「チェックシート」を活用する。

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/g04/kisyousaigai/ametaisaku.html>



資料提供：(一社)日本施設園芸協会より

